

令和7年度第2回津軽広域懇談会 会議録概要		
日 時	令和8年3月24日（火）14時～15時20分	
場 所	ヒロロ3階多世代交流室2	
出席者	委員（5名）	森座長、石山委員、吉田委員、佐藤（聖）委員、 佐藤（和）委員
	事務局（4名） （津軽広域連合）	高山事務局長、福井総務課長補佐、菊池主幹兼総 務企画係長、菅井主査
会議概要		
1 開会 2 事務局長挨拶 3 議事 （1）津軽広域連合ソフト事業について （2）その他 4 閉会		
【各委員からの意見概要】		
議事（1）		
【ものづくり体験教室について】		
<ul style="list-style-type: none"> ・参加費を安価に設定しているが、講師へ払う報酬も加味した参加費設定にすることで、講師が自分自身でイベント実施した際の参加費と価格差を感じずにすむので、次につながっていくと思う。 ・小学生向けのイベントであっても、保護者が動きやすいタイミングや、学校行事や子ども会行事、部活動の大会日程を情報収集して、日程や会場設定に役立てていけば良いと思う。 ・名人・達人バンク事業のチラシの裏面に講師一覧を掲載するのはとても良いと思った。イベントは一過性になりがちなので、こういったものがあると参加者が別の機会に利用しようと思うきっかけになるので、次につながると思う。 ・参加者への確実な通知方法として、参加者へ最終確認の形で、名前やニックネーム、年齢などを確認して返信してもらう形にすると良いと思う。 		
【ふるさと探訪バスツアーについて】		
<ul style="list-style-type: none"> ・バス以外に大鰐線にも乗車するのであれば、電車内にランタンが飾られているなど何かイベントが実施しているときに乗車できれば楽しいのでは。 ・大鰐で1日過ごすことで、こういうこともできると新たな魅力を発見して、リピーターが増えるきっかけにもなると思う。 ・沿線を意識しすぎると、大鰐線が廃止になった後に行けなくなったら次につながらない。電車がなくなった後でも、車で行きやすいとか、人が来てくれるよ 		

うに意識して内容を検討してもらいたい。

【巡回写真展について】

- ・ 津軽広域連合の取組を知ってもらいたいという目的もあるのであれば、知ってもらうという働きかけも大事だが、忘れさせないということも大事だと思うので、毎年8市町村を回ったほうが良いのではと思う。
- ・ 展示期間は展示場所に合わせて柔軟に設定しても良いと思う。場所が確保できるのであれば2週間展示できると土日が2回あるので、見てもらえる機会も増えると思う。
- ・ 今は、写真展を目的に来るというよりも、施設に来たついでに見に来る段階だと思うので、写真展としてネームバリューが出るまでは、普段から立ち寄り、通過するような場所、例えばスーパーに展示してもらうのも良いのでは。

議事（2）

- ・ 広域で観光情報を発信できるような方がいれば、各市町村のそれぞれの観光資源、季節ごとの強みなども広域化されて目的地以外へも立ち寄りきっかけとなり、誘客につなげることができると思う。